

豊北高校栗野川流域ホタル観察会報告

2017年5月30日 午後7時30分—8時40分

栗野川支流 太田川 出会の橋

主催 北高夢ロード実行委員会

指導 藤岡達雄氏（夢ロード会員・つのしま自然館）

同行記

午後6時前に下関市街地にある自宅から車で豊北町田耕五千原の集合地点に向かった。29日のカラッとした湿度の低い涼しさから一転、若干蒸し暑さを感じる今日は、藤岡さんから前もってレクチャーを受けていたので、ホタルがよく出るに違いないと期待しながら車を走らせる。午後7時には五千原バス停に到着。まだ、明るい。風力発電の風車が白滝山の山頂に立ち並ぶ風景を見ながら皆さんを待つ。集合場所の旧田耕タクシー広場には小さなお店ができていて、文房具を売っているという看板が出ていた。

集合時刻には皆さん集合、北高の生徒さん4名とご家族、北高の教職員、校長、教頭事務長の先生方に新任の二人の先生が来られたことはうれしいことでした。栗野川を守ろう会の中嶋先生も駆けつけてくださった。総勢19人。

互いの自己紹介が終わり、藤岡さんのお話を聞く。切り出しの注意と説明を聞く。

- ① 交通事故に気を付けるように。車は結構通る。
- ② 車は同じところに止める。
- ③ 懐中電灯は使わない。今日は、まだ新月から数日で暗い、若干の湿度もあり、最適の条件である。
- ④ 豊北町の各所にホタルが乱舞する。地元の私たちが知らないだけである。毎年観察場所を変えてゆきたい。角島にもホタルの生育地がある。

続いて、資料で「ホタル」の説明をいただく。今晚見るのはゲンジボタル、豊北ではハイケボタル、ヒメホタルも見られる。「ホタルの一生」の図でホタルが出る生態系としてを学ぶ。

山口県の各所でホタルの写真を撮ってられる平島さんから、ホタル撮影のポイントを教えていただく。持参のアイパッドでは無理とわかる、一眼のデジタルカメラで撮影可能。フィルム撮影のカメラではむづかしいというお話しであった。

7時45分 乗り合わせて観察場所の出会の橋に移動、集合地点から5分かからない。橋から川べりを見る。2メートルから3メートルの川幅、流速は感じられないほどゆっくりしている模様。川面の周りは、草や雑木がかなりうっそうとしている。

まだ、明るい。そのうち、川面に近い草むらにポツン、ポツンとホタルが光る。そのうち光の数が増してくる。やがて、高く舞い始める、そして橋に近づくものもあらわれる。8時15分ごろになると、光の数はまし、光の同調がはっきりして、光のリズムが楽しい。高く舞うホタルの光と角島を目印に福岡空港に向かう飛行機の光跡は交差する。

8時40分、帰途のこともあり、解散の指示、まだまだ、見たい気持ちを抑えて、観察地を離れる。高校生たちの印象はどうだっただろう。ゆっくりと温めていただければ嬉しい。栗野川流域と角島の水をテーマにまだまだたくさんの知らない事実がある。高校生達と何かを学びあう、小さな一歩が始まった。(岡崎新太郎)